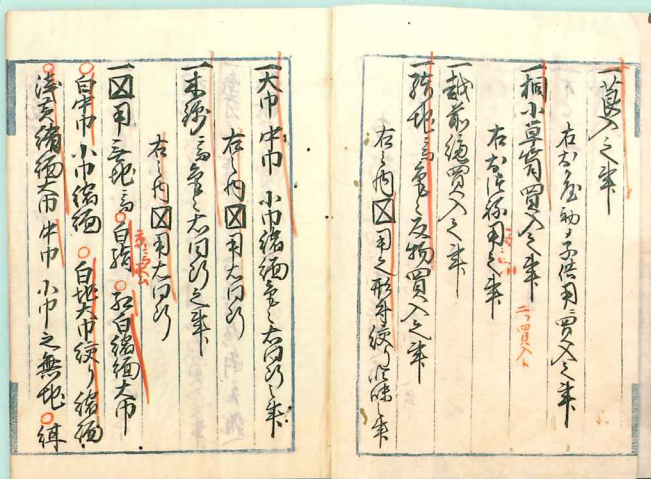


子供たちのために極上の絵具や紙、筆筒などを買うこと、袴用の反物や縮緬、木綿、能の衣装、節句人形、雨傘や雪駄をかうこと、時計の修理や煙管の入れを頼むことなどが事細かに記されている。



「京都・東都所々詠之品并土産物之控 全」(個人蔵)
松井章之が江戸参府に携行した備忘録。購入したものには朱線が入る。



茶呉呂地紙入
天保12年(1841)、松井家10代章之(1813~87)が家督相続御札のため、江戸に参府した際、細川藩上屋敷にて藩主細川斉護より拝領したもの。



茶更紗地唐花文縫取紙入
安政3年(1856)、参府中の章之が知人からもらった馬尾地を、丸屋利兵衛の店に持ち込んで紙入に誂え、出来上がってから八代に届いたもの。



縞羅紗地腰差煙草入
「御父上様御参府御土産」と記された包紙が付属。嘉永4年(1851)の江戸土産。来歴がわかるものが多いのもこのコレクションの魅力。



鎧形一つ提煙草入
巾着袋は鎧袖または草摺形、根付は太刀拵の精巧なミニチュア。江戸の宮川長次郎の店で購入したもの。



火薬入形一つ提煙草入
根付は火縄銃、緒締は火縄、袋は火薬入形で松井家の家紋がつく。砲術に力を入れた章之の遺品。



放煙草入 各種
刻み煙草を入れる袋で、好みの煙管筒と組み合わせて用いた。素材も文様もさまざま。

開館30周年記念令和3年度冬季特別展覧会
お殿様は買、いもの上手 こだわりの江戸土産

肥後熊本藩筆頭家老であり、八代城主として藩主細川家を支えた松井家は、幕府からも知行地を与えられていたため、家督相続と將軍代替わりの際には、当主が江戸へ赴き、將軍に拜調する習わしでした。一生のうち数回しかなかった江戸参府は、地元では手に入らない高級品を買い求める絶好の機会でもあったようです。

本展では、松井家が持ち帰った江戸土産をスラリ展示します。このうち、紙入や菅迫、巾着袋など、手回り品を入れて携帯するための小さな袋物は、象牙や鼈甲、金欄や更紗、水晶や珊瑚などの珍しい材料が用いられ、時絵や象嵌などの細やかな技巧で飾られています。これらは、日本橋付近の有名な小間物屋で購入したもので、まさに当時の日本文化の粋を伝える品々といえます。

古今を問わず、人々はお気に入りの道具を持つことで心を落ち着かせ、細やかな手仕事に宿る美を愛でることで豊かな心を育んできました。当館の主要事業として取り組んできた松井文庫所蔵品調査の成果を通じて、日本文化の持つ豊かさや繊細さ、遊び心を楽しんでいただければ幸いです。

【交通のご案内】

- JR** 鹿児島本線・肥薩おれんじ鉄道八代駅下車3km
九州新幹線新八代駅下車6km
- バス** 八代駅・新八代駅西口から「検察庁・法務局・市博物館前」
「北荒神町福祉センター前」/「八代市役所前」いずれかのバス停下車
- 車** 八代I.Cから八代港線に入り、田中西町交差点を左折(南下)
松浜軒前交差点を右折すく ※大型バス4台、普通車40台駐車可



八代市立博物館未来の森ミュージアム

〒866-0863 熊本県八代市西松江城町12-35 TEL0965-34-5555 FAX0965-33-9200
博物館ホームページ <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>